

# 近世史セミナー

## テーマ「近世地方都市の生活」

◇日時 平成30年12月9日(日) 13:00~15:50 \*受付12:30~

◇会場 長野県立歴史館 第一研修室

事前申し込み不要(先着90名) ※観覧料が必要です

### 日程及び内容

研究発表(13:10~14:10)

「近世の都市の生活—松本城下町跡の発掘から—」

竹内 靖長 氏(松本市教育委員会文化財課)

数多い発掘調査を基に、城下町の経済活動と都市発展の様相から新たな都市像を発表します。

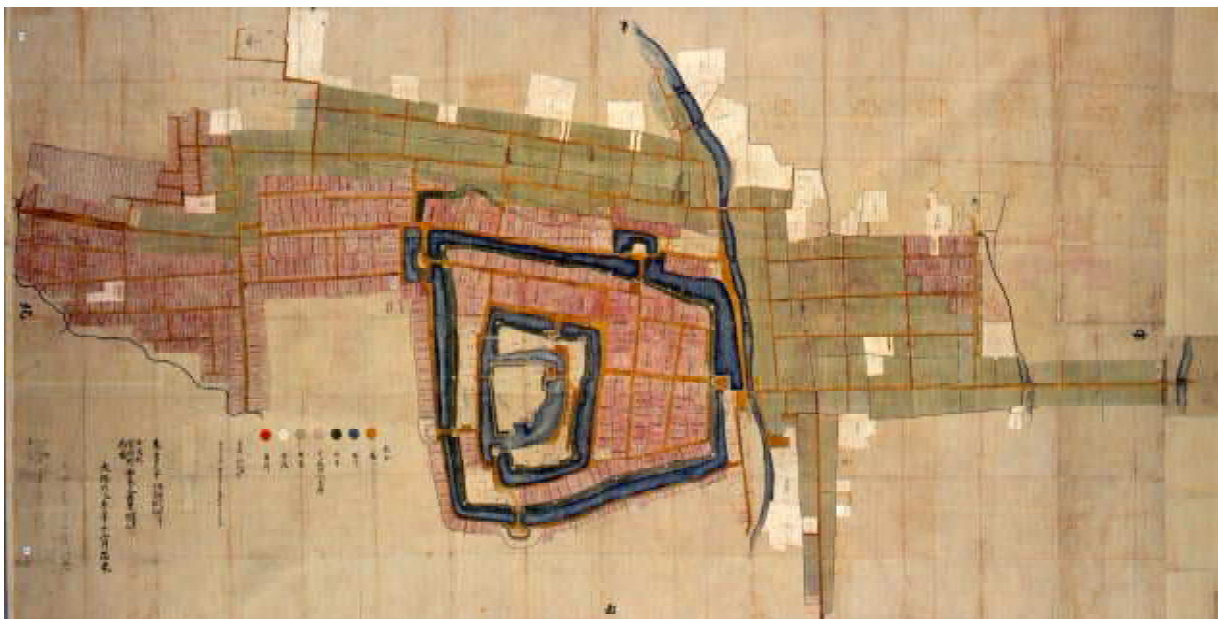
講演(14:15~15:45)

「幕末維新期における松本地方の医療環境

—病院・医学校をめぐる「公」の行方—

塩原 佳典 氏(畿央大学)

幕末から明治なかごろまでを対象に、松本公立病院の興亡を追跡します。この病院は、松本藩の医学校に由来し、地域住民により維持されていました。地域社会で生存するための条件がいかに整備され、あるいはなぜ破綻したのか。医療環境の近代化を支えた地獄的な「公」のありようについて理解を深めたいと思います。



松本城下町絵図(天保6年)

長野県立歴史館蔵

【問い合わせ先】 長野県立歴史館総合情報課 TEL 026-274-3991